（様式１）

平成２４年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） １２２	**提案機関名**	財団法人相模湾水産振興事業団
要望問題名　相模湾の藻場・漁場調査について		
要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】 ○　平成 21 年に腰越地先の天然ワカメ不漁の件で、地元漁協が原因の調査を県水産技術センター相模湾試験場に依頼し、同試験場がROV（水中カメラロボット）による調査を実施し、海中の様子を詳しく観察することが出来、漁業者の助けになった。 ○　また、近年、海底のシルト化や藻場の高配当が進み、漁業生産力の低下が懸念されている。 ○　このようなことから、自分たちの漁場を把握したいという漁業者からの要望が強く、今後も引き続き、同試験場のROV等による調査の実施を要望します。		
解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内	
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター　②畜産技術センター　③水産技術センター ④自然環境保全センター	
備　考		

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	**担当部所**	相模湾試験場
対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可		
試験研究課題名　（①、②、④の場合） 漁場環境保全調査			
対応の内容等 相模湾内の藻場や底質の調査については、現在「漁場環境保全調査」により実施しております。今後も相模湾の藻場、底質の調査については継続していく予定です。			
解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内		
備　考			